

子どもにとって居心地のよい学校づくり ～いじめを見逃さない取組～

平成23年度「いじめ対策チーム」
委員会議スタート！

いじめ根絶に向けて本県の状況を検討協議する平成23年度第1回の「いじめ対策チーム」委員会議が今年も県庁4階の教育委員会室で8月23日に開催されました。委員は、子ども委員4名を含む13名の委員の皆さんに出席していただき活発な意見交換ができました。



第1回「いじめ対策チーム」委員会議(平成23年8月23日)



【子ども委員】

「子どもにとって居心地のよい学校」の主な意見 ～子ども委員より～

友達がたくさんいて、みんなが仲良く楽しくできて、独りぼっちで悲しんでいる人がなくて、みんなが生き生きとしている学校です。居心地のよい学校と聞いてイメージするのは、クラスメイトとか生徒会の先生方です。自分が生徒会をやっていた時は「楽しい」とか「大変だ」とかばかり思っていました。引退して今思えば、みんなと一緒にいる時間が一番自分らしくことができ、よかったなと思っています。人それぞれ、学校に居心地の良い場所というものがあると思います。子どもの立場、目線になって話してくれる先生がいる学校、毎日通うことが楽しい学校、クラス内で喧嘩が全くない学校、学校行事にみんなが積極的になる学校、学年に関係なくみんなの仲が良い学校が良いと思います。私にとって居心地の良い学校とは、どんなことでも遠慮なく話し合えて、積極的に行事などに取り組める、そんな学校が良いと思います。自分がありのままの自分でいられて、みんなを受け入れることができる学校が良いと思います。

「学校づくり」について、それぞれの立場から考えていること ～大人委員より～

学校・学級が楽しい、行事・授業が楽しい、友達・先生と話すことが楽しい、そういう居場所づくりが必要だと考えます。子どもたちが学校に行きましたら、親から離れます。先生方の見守り、いじめの早期発見できる学校づくりをお願いします。元気な学校づくりを進めています。(授業が楽しくおもしろい学校、信頼できる仲間、先生がいる学校)授業中、休み時間、部活動の時間も、先生と一緒に活動し、常に見守る状態を作っています。生徒たちに学校は安心できる所でないといけなく伝えていきます。そのことが、居心地の良い学校づくりにつながると考えます。多くの人が関わってもらって、多くの人の目で見守ってもらうことを学校の先生と一緒に進めています。違いを認められる、意見が違っても、それを擦り合わせる事ができるそういう集団が良い集団だと思います。そういうようになれば一人ひとりが居心地の良い学校になると考えます。

「いじめを見逃さない学校づくり」に向けた「環境づくり」「雰囲気づくり」についての意見、実践状況

子ども会連合会ではホームページでいじめをなくするという対策プランを作りました。チェックリストを作成し、地域の方からいじめを出さないように確認してもらっています。本校には人権委員会というのがあって、人権を子どもたち自身が考えていく委員会です。先生たちも環境づくりをがんばっていますが、子どもたち自身が環境を作り上げていくことも大事です。

朝のあいさつ運動をしています。あいさつが声をかけるきっかけになっています。生徒会では仲良くしてもらおうという取組をしました。仲間づくりのために学年の交流ができる行事を増やす提案をしていきました。みんなが仲良くなれるように行事などを考える活動をしています。

取組として「動くこと」は大切です。小中高での児童会生徒会の取組はまさに「動くこと」であり、このことが原点です。

会議を終えて(委員長より)

子ども委員さんのいじめに対する視点はしっかりとしていました。大人は理屈ではわかっていてもやはりみなさんのような視点をしっかりと持つことは大切です。そのことを再認識しました。今後もその視点をもち続けてほしいと思います。

居心地のよい学校づくりについて、学校の状況に応じて地域の状況に応じて取組も変わってくるでしょう。1つの取組が全ての学校で100%効果があるかはわかりませんが、取り組むことが大切です。2回目に向けてより具体的なものになるよう、進めていただきたいと思います。今日は本当によいご意見が聞けました。それをどうシステム化していくかが大切なことであり、大人の責任でもあります。教育委員会や学校・地域社会の役目でもあります。次回開催は1月6月の予定です。次回もどうぞよろしくお願いいたします。

いじめ根絶へ重要ポイント

いじめについて相談しやすい学校の雰囲気
すぐに対応ができる学校の仕組み
学校の先生方が常に、どの子どもにもどの学校にも起こりうるという意識を常に持っている
子どもたち自身による児童会、生徒会のいじめ根絶への実践活動



【大人委員】

子どもにとって居心地のよい学校づくり

～ 学校と地域との連携によるいじめを見逃さない取組 ～

平成23年度「いじめ対策チーム」 第2回目の委員会会議開催！

今年度の会議のテーマは「様々ないじめを見逃さない取組を实践し、居心地のよい学校づくりをめざす」こととしています。今回は学校だけでなく地域でのいじめを見逃さない取組についてご協議いただきました。学校と地域とが連携して「いじめ根絶」をめざす取組の方向性を委員会会議から発信し、居心地のよい学校をめざしたいと考えています。



第2回「いじめ対策チーム」委員会会議 (平成24年1月6日)

各校での取組状況報告 ～子ども委員より～

青山小学校では「いじめストッププロジェクト」という取組をしています。各学年から標語とキャラクターを募集しました。キャラクターのおかげで低学年の子にも親しみをもって活動に参加してもらえました。また集まった標語は「心がホットコーナー」で掲示し、放送でも発表しています。

皇子山中学校では「皇中環境宣言」にあるいじめのない学校づくりを進めるために、「皇中環境宣言プロジェクト」をつくりました。このプロジェクトでは、学校で行っているあいさつ運動の回数を増やすことなどを話し合っています。

堅田高校では、地域に根付いた学校を目指しています。去年は大津北警察署の方々と生徒会と一緒にあいさつ運動をしました。地域活動ではゴミ拾いをしたり、堅田駅の花壇の水やりをしたりしました。また、年に1回、小学生、中学生、高校生が地域の人たちと一緒に「堅田のWA」という行事も行っています。



学校と地域との連携についての協議内容

【ポイントになること・配慮すべきこと】

人と人をつなげるためにはあいさつが大切。あいさつで地域とつながり、つながっていればいじめは生まれません。地域の方からの声かけは、人間関係がないとできない。だから多くの方と知り合いになる取組が必要だ。地域行事に参加するまでは、行事そのものの楽しさがわからない。楽しさがわかれば参加しやすくなり、人間関係も生まれる。いじめは放課後などの自由な時間を見つけやすい時間帯だと思う。だから下校時等に地域の方に見つけていただけるのではないかと。地域で温かく見守るためにアンテナを高くして情報を入れることが大切だ。地域の方と情報を共有することは大切なことだが、個人情報の面での配慮が必要だ。

【課題点】

いじめられている子は参加しないことが多いので、子ども会活動の中でいじめは見つけにくい。わが子が学校を卒業すると学校への関心が薄くなり、地域の中であいさつや会話があっても、なかなかいじめ根絶への意識が高まらない。スクールガードさんが登下校の見守りの中で、どのようにいじめと関わっていくかが課題である。中学生、高校生ともなると地域行事に参加しなくなる。部活動等での多忙さが理由であると思う。地域での懇談会は情報交換会はあるものの、いじめに関わる内容の情報は出ることがない。スクールガードさんはいつも同じ人であれば子どもの変化にも気付いていただけるが、輪番制になると見つけづらいうらう。

【各委員からの具体例・提案】

地域の方は私たち生徒や学校に大変興味を示してくださっているが、何が学校で行われているのか知ってもらえないように思う。だから、行事のカレンダーを作って、地域に発信すれば、地域の方との会話が生まれコミュニケーションが生まれると思う。学校近くの駅に行事ポスターを貼ったり、生徒会が地域の集会に参加し、学校の取組発表をしたりしている。地域の方に生徒を知ってもらい、私たちの様子の変化に気付いてくれる人が増えることを願っている。夏休みに、地域ごとに地域の委員さんと登校班長会議を実施。学校の行き帰りのことについて話し合いを行っている。本校は、学校便りを校区内全戸へ回覧していただいている。地域の方に、中学生がもっと地域行事に参加できる場を設けていただくよう要請している。自治会の役員会に学校が参加し、学校の様子や状況を伝え、逆に地域の要望もお聞きしている。わが子の高校では四者懇談会が実施されており、生徒・保護者・先生・地域の方で懇談を行う。また、あいさつ運動や清掃活動にも地域の方の参加もあり、地域の方にも見守ってもらっているんだという生徒の思いが強まっている。



本会議からのメッセージ

いじめ根絶に向け、地域の方々にみんなで子どもを守り育てる意識を持っていただくことが必要です。そして、気になる言動を見たときに毅然と注意や連絡をしていただくことが大事になります。学校と地域が連携を密にするためにも、情報交換の場を多く設定するとともに学校側も地域に出向いていくことの重要性がわかりました。学校ではいじめをキャッチする多くの手だてをしていますが、どうしても見つけにくい場合もあります。今後さらに地域の方との連携が必要になってきます。御協力どうぞよろしくお願いいたします。